

1. 地域概要

計画名	令和8年の首里城正殿復元を契機とした、首里杜地区を中心とした暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり
対象エリア	首里杜地区
実施主体	沖縄県
年間観光客数	首里城公園年間観光客数 280万人（平成30年）
宿泊者数	259.2万人（那覇市等への宿泊）
主な観光資源	- 首里城公園（首里城・園比屋武御嶽石門・守礼門等） - 金城町 石畳道 - 中城御殿跡 - 首里染織館suikara



首里城正殿



金城町の石畳道

● 観光ビジョン

100年後まで住み続けられる持続的なまちづくり

- 首里杜地区は、自然や歴史を基盤にした首里の人々の営みによって形づくられてきた。沖縄戦などの被害を受けながらも、歴史・文化を受け継ぎ、新たなまちを形成してきた活力は、首里に住む人々や関係する人々の古都首里への誇りと愛着、そして訪れる人々の理解と親しみによって生み出されていると考えられる
- このような自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す。

● 推進体制（協議の場）

首里杜まちづくり推進協議会

行政機関

沖縄県

那覇市

内閣府
沖縄総合事務局

事業者

沖縄美ら島財団

沖縄観光コンベン
ションビューロー

SCSK
株式会社

住民関係者

首里杜地区
まちづくり
団体連絡協議会

学術機関

琉球大学

2. 課題

● 主な課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 首里城公園 周辺道路の渋滞	- 交通渋滞により、通勤や学校の送迎などの点で地域住民の日常生活に影響が出ている - 首里城公園は小学校に近接しており、危険性が高いとの声が上がっている 緊急車両が動けず危険な状況が発生している - 観光客のツアー行程や快適な観光にも影響が出ている	観光客・住民
2. 施設の混雑	- 首里城公園内施設は、修学旅行を始めとした大勢の観光客が訪れるが、一部施設に混雑が発生し、快適に観光が出来ないなどの不満等が出ている - 混雑が要因で避難誘導が困難となり、群衆事故が発生する懸念もある	観光客

1. 交通渋滞



- 一度に大型バスが来園することにより、約150m通過に約25分かかるほど深刻な交通渋滞が発生



- 特に午前中の時間帯の渋滞がひどく通勤・通学の時間帯と重複してしまっている

2. 施設混雑



- 素屋根、木材倉庫見学エリア等に修学旅行生を含む観光客の集中が発生している



- 有料見学エリア入場口（奉神門）付近で、観光客が入場待ちが発生する。

4. 対策の概要

- 地域の現状を把握するため、交通量のデータ分析、また地域住民へのアンケートを実施し、計画を策定
- 時間と場所の分散を対策の軸として、駐車場満空情報や予約状況の見える化などを実施する
- また、本エリアはR4にまちづくり協議会が設立し、20年、50年先を見据えつつ、持続可能なまちづくりを進めていく計画である。そのためには、効果検証のための数値指標を設定し、観光による地域の変化を測る必要があるが、その指標が設定されていない
- そのため、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した指標設定や研修により、地域の体制も強化していく

エリアマップ



観光客の分散・平準化

取組み	①予約状況が見える化するためのバス予約システムの構築
内容	• 一時に大型バスが来園することにより、約150m通過に約25分かかるほど深刻な交通渋滞が発生 • 予約状況が見える化することで、駐車場予約時間の分散化を図る
取組み	②首里城公園駐車場とあわせた周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信システム及びWebサイトの構築
内容	• 周辺駐車場を探し回ることによるうろつき交通が発生し、混雑の要因となっている • 周辺の民間駐車場への誘導により、スムーズに車を分散させることで、うろつき交通・渋滞解消を図る。あわせて、周遊観光の促進も図る
取組み	③首里城公園駐車場の満空情報を発信するためのwebサイト構築、道路サインージの設置①
内容	• 満車にもかかわらず、飛び込みで来るレンタカーなどが交通渋滞が発生させている • 来園前に満空を確認できるようにすることで、場所・時間の分散を図る
取組み	④近距離モビリティ実証実験
内容	• 首里城公園周辺の観光スポットに観光客が分散せず、園内が混雑 • 近距離モビリティにより周遊しやすい環境を整備することで、周遊観光促進及び観光の経済効果の波及を図る

需要の適切な管理

取組み	⑤人流解析基礎データ情報を取得するための機器の設置②
内容	• 首里城の特定エリアに修学旅行生などの観光客が集中し、快適な観光への影響の他、群衆事故が発生する懸念もある • まずは人流を把握し、需要の適切な管理方法の構築に繋げていく

調査・分析

取組み	⑥日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用したデータ収集・分析等
内容	• 進捗状況や成果等を分析、効果検証するための数値指標が設定されておらず、観光によって地域がどうなったかが見えていない • そのため、データ分析の仕組みを構築し、効果検証を実施する

5. 主な取組み（詳細）

課題

首里城公園駐車場への集中による交通渋滞発生

取組み

満空情報の発信／バス予約システム構築（3事業）

- ・ 実施期間：令和6年7月～令和7年2月
- ・ 実施主体：沖縄県

事業内容

1. 周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信

- ・ 首里城公園駐車場周辺の民間駐車場の情報について、満空情報の発信を追加する

2. 満空情報発信するためのサイネージの設置

- ・ 首里城公園駐車場の満空情報を首里城前のサイネージにより発信する

3. 予約状況が見える化するためのバス予約システムの構築

- ・ 予約を行ったバスについて、QRコードを使用した入庫の仕組みを構築する

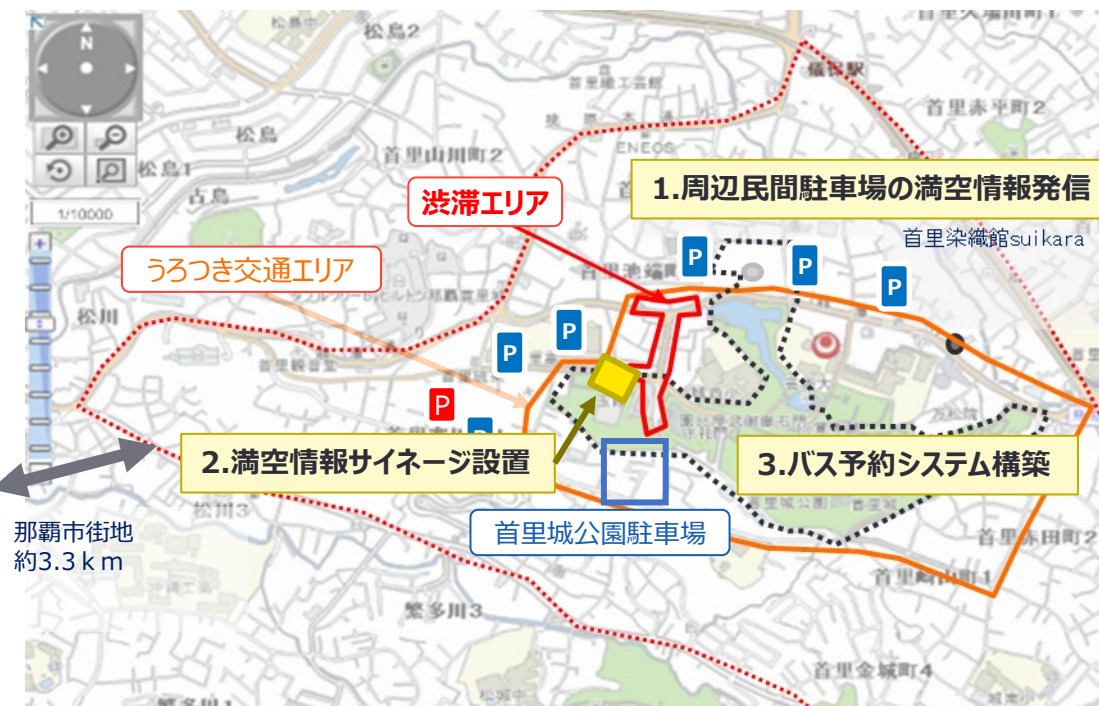
【現状】

首里城公園駐車場に集中するため、駐車場待ちによる交通混雑が発生しやすい

事業1： 周辺駐車場の満空情報を集約し首里城公園WEBサイトで発信することで、首里城公園駐車場からの分散を図る

事業2： 駐車場の満空情報情報をサイネージで発信し、来園前に周辺駐車場などに回避させる

事業3： 渋滞の要因となっているバスについて、事前予約制にすることで駐車場待ちの渋滞を解消する



令和6年度事業の目標

- 満空情報及び周辺駐車場の空き情報見える化により、首里城公園周辺における交通渋滞を解消する

事業の成果／目標の検証結果

- エリア一体で交通渋滞軽減を図る仕組みを構築し、仕組みの有効性を確認した
事業1：連携する民間駐車場の箇所数：
6か所73台、サイトへのアクセス数4,881pv
(2024年12月～2025年1月)
事業2：満空情報発信までのタイムラグ 15秒⇒5秒に削減
事業3：入庫確認時間（平均） 20秒⇒10秒に削減

成果詳細

1. 周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信

- 6か所73台の民間駐車場と連携
- 周辺民間駐車場のサイトアクセス数は4,881PVとなり、首里城公園駐車場からの分散化を図ることができていると考えられる



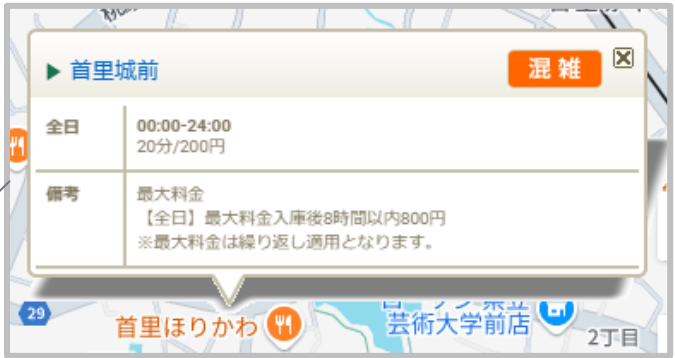
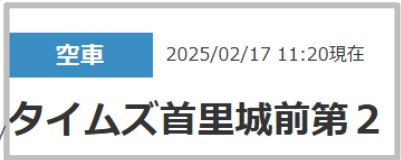
TOPページから周辺駐車場を案内

周辺の民間駐車場のご案内



No.	名称	収容台数	満空情報 (外部サイト)
1	首里パーク第1	30台	—
5	守礼駐車場	営業停止	—
6	タイムズ首里城前第2	4台	満空情報
7	首里城入口駐車場	15台	—
8	首里城前パーク	40台	—
9	龍潭前ひまわりパーク	5台	—
10	首里城公園前パーク	20台	—
11	三井のリパーク 首里城前	13台	満空情報
12	三井のリパーク 鳥堀町1丁目第1	4台	満空情報
13	三井のリパーク 鳥堀町1丁目第2	18台	満空情報
14	三井のリパーク 鳥堀町1丁目第3	34台	満空情報
15	Dパーク 那覇市首里新川町第1	36台	満空情報

満空情報の追加

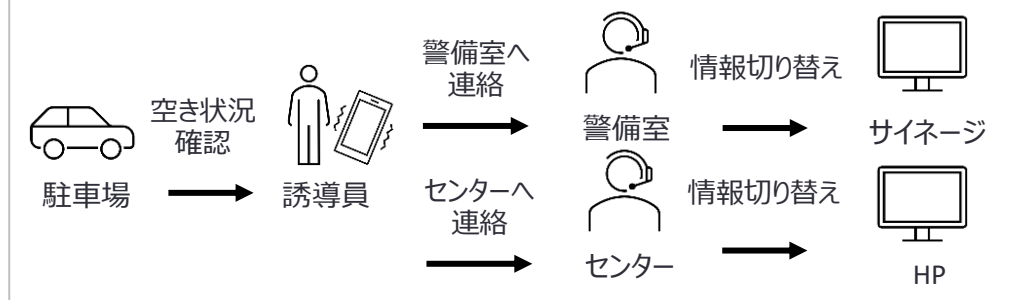


成果詳細

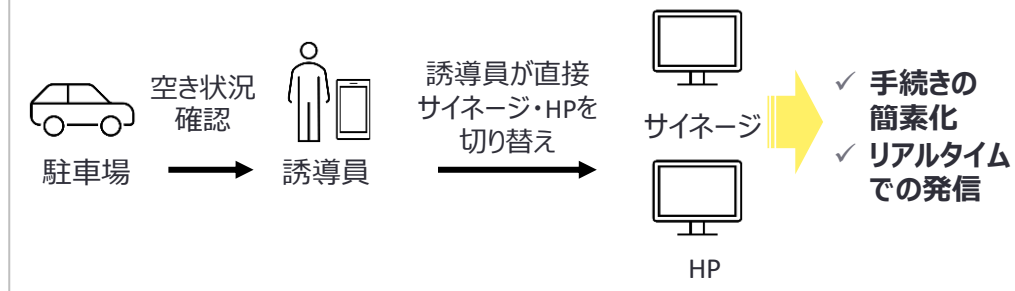
2. 駐車場の満空情報を発信するためのサイネージの設置

- ・ **設置前**：誘導員が警備室・センターに連絡し、サイネージ・HPを切り替えていたため、手続きが煩雑で、タイムラグも発生
- ・ **設置後**：誘導員が直接切り替えられるようになり、手続きが簡素化。タイムラグも解消した

【設置前】



【設置後】



満空情報発信までのタイムラグ 15秒⇒5秒



サイネージ



HP

成果詳細

3. バス予約システム構築（出入口へのQRリーダー設置）

- バスによる来園時間帯の平準化による周辺道路の渋滞緩和を図るため、バスの駐車場利用については、令和5年7月3日から予約制を導入
- WEBサイトでの予約時にQRコードを発行し、入庫をスムーズ化する

WEB上で駐車場を予約

予約する

2025年 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

エリアかツアー区分のどちらかは指定してください。

エリア
首里城公園駐車場

ツアー区分
選択してください

検索

QRコード発行



QRコードを読み取り入庫



入庫確認時間（平均）
20秒⇒10秒に削減

令和6年度取り組みから見てきた課題

■ 2026年秋の正殿再建を見据えた需要のコントロール

- 渋滞の要因となっているバスについては予約制とし、平準化を図っているが、バスを優先とした結果、**レンタカーなどが止められない時間帯が発生**
- 正殿再建後は、観光客が急増し、混雑や渋滞が悪化することが想定されるため、**エリア全体でさらなる需要のコントロールの仕組みを構築していく必要がある**

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

■ 小型車の予約制導入

- 首里城公園駐車場はバスのみを予約制としているが、レンタカーなど、小型車についても予約制の導入を実施

■ 周辺駐車場の満空情報の発信強化

- 首里城公園駐車場に入れない車両を周辺駐車場に誘導するために、満空情報発信を強化する

■ 首里城正殿の時間制チケット導入

- 時間制チケットを導入し、総量のコントロールを実施。チケットを予約したが駐車場に止められないという事態が発生しないよう、正殿と駐車場の予約を連動させる方法などを検討

首里杜エリアの目指す姿

➤ 首里杜エリアの目指す姿

- 首里城公園に集中する車・人について、予約制などにより需要をコントロールしつつ、周辺への分散化を促進し、地域の活性化にもつなげる
- このように、エリア一体で観光管理の体制を構築することで、自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す

首里城復興を見据えた エリアマネジメント	需要の管理	• 首里城正殿の時間制予約の導入 • バス・小型車の駐車場予約制の導入
	分散化	• 満空情報発信による駐車場状況の見える化、周辺駐車場への誘導
	周遊促進	• 首里城公園周辺の周遊ルート開発、2次交通の整備

100年後まで
住み続けられる
持続的なまちづくり



5. 主な取組み（詳細）

問題

- ・ 首里城正殿復元の際に来園者が爆発的に増加すると周辺住民への影響が予想され、観光に対する不安の高まり、信頼度低下が懸念される

対策事業

- 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の各項目に基づくデータの収集・記録、取組
- ・ 期間：令和6年9月～令和7年2月
 - ・ 実施主体：沖縄県

事業内容

■ 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の各項目に基づくデータの収集・記録、取組

- ・ JSTS-Dロゴの取得に向けた意見交換・計画改定
- ・ まちづくりの取組の効果検証のための指標設定
- ・ GSTCトレーニングの受講
- ・ 今後の地域づくりに関するワークショップ等の開催
- ・ 他地域との意見交換

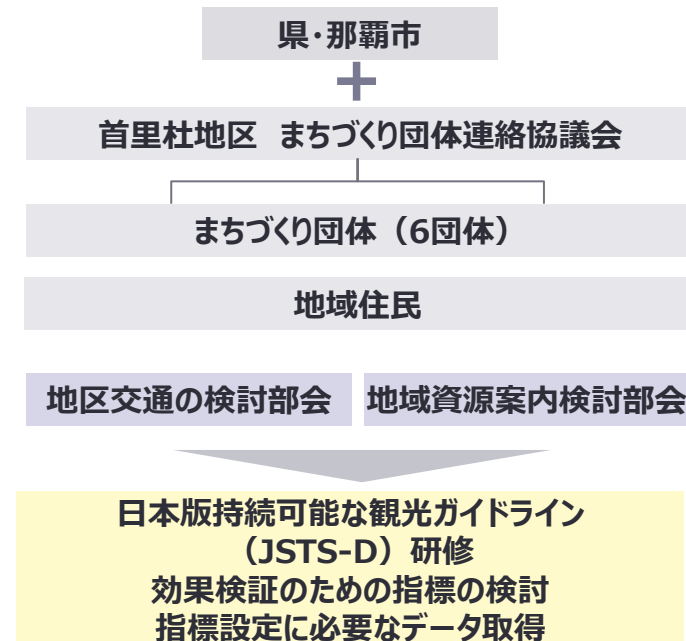
【背景】

- ・ 首里杜まちづくり推進協議会において、持続的なまちづくりを進め、10年計画のロードマップを協議しているが、進捗状況や成果等を分析、効果検証するための数値指標が設定されておらず、観光によって地域がどうなったかが見えていない
- ・ 首里城正殿復元の際に来園者が爆発的な増加による周辺住民への影響が予想され、観光に対する不安の高まり、信頼度低下が懸念される

【目的】

- ・ 地域における課題再整理、可視化のため、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用し、地域住民に対して取組の更なる浸透を図るほか、暮らしと観光の両立について、首里地域にあった姿は何か、関係者の議論を深める

地域住民の巻き込み体制



＜令和6年度の事業内容＞

- ・ まちづくり推進協議会は年2回、県・那覇市・大学も含め、直近は約80名で実施
- ・ 部会は、年2回実施
- ・ 持続可能な観光WGを新設した。
- ・ 部会に附随するワークショップは、3地区で年2回実施

成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- 今後のまちづくりの取組の効果検証に向けた指標を設定
- 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマークの取得や座組の強化など、持続可能な観光地づくりに向けた体制の整備

事業の成果／目標の検証結果

- 7つの指標案を作成。指標策定に向け、引き続き協議を継続する
- 持続可能な観光地域づくりに関する国際基準(GSTC)トレーニング修了証明書を取得するなど、ロゴマーク取得を進めていく

成果詳細

住民を含めたワーキンググループの実施



持続可能な観光地域づくりに関する国際基準（GSTC）トレーニングの実施



令和6年度の取組みから見てきた課題

■ 共通指標の策定に向けた合意形成

- 持続可能な観光地域づくりに向けては、関係者で共通認識を持つための指標を策定する必要があるが、合意形成には時間がかかる

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

■ 指標策定に向けた協議の継続実施

- 引き続き、地域住民との協議やワークショップ等を継続し、まちづくりの取組と効果を継続的に検証するための指標策定を目指す